

電動車いすの教程シートVer1.2

筑波大学附属桐が丘特別支援学校 支援部(補装具担当)作成

(学年・名前)

(学級担任氏名／自立活動指導担当者名)

	練習開始時 (/)		備考
第1段階 車椅子操作になれる			
①電動車椅子の動きに慣れる		①	
広いところで自由に動き回る			
②指示に従って走る、止まる		②	
広いところで真っ直ぐ走る			
広いところで指示された方向へ曲がる			
直ぐに止まる			
③人の後ろについて、ある程度の広さがあるところを走る		③	
他に人のいない廊下を教員の靴や背中を見て走る			
第2段階 自分で前方を確認しながら、人がいない校内を走る			
①廊下を自分の視点を見つけながら走る		①	
視線をできるだけ前方に向けて走る			
②廊下の端による		②	
他の人がいた時に端によけて待つ			
③廊下の端を走る		③	
廊下の壁との距離を確認しながら走る			
④スピードを調整する		④	
広い場所や人がいない場所でスピードを上げる			
人がいたり、狭いところではスピードを下げる			
⑤エレベーターに乗る		⑤	
エレベーターの壁との距離を確認する(ギリギリ奥まで入る)			
バックでエレベーターから出る(ドアの開延長は補助してもらう)			
⑥ぶつかった時の対処法を知る		⑥	
ぶつかったら直ぐに止まる(レバーから手を放す)。			
ぶつかった箇所を確認する。			
ぶつかった場所から少し戻り、ぶつかっている側と反対の方向へ進む			
第3段階 自分で障害物を確認しながら、狭いところを走る			
①障害物を自分で確認して、通過する		①	
障害物との距離、障害物と壁との間の距離を確認する			
様々な障害物を確認しながら通過する			
壁→窓枠→ロッカーなど(直方体の物)→パイプ状の物(机・椅子・ウォーカー)→上下で大きさの違う物(パイロン等)			
②障害物がある場所での右左折をする(大回りをして通る)		②	
左折時 左足台と左障害物との距離、右足台と右障害物との距離			
左後輪と左障害物との距離などをチェックしながら通過する			
右折時 右足台と右障害物との距離、左足台と左障害物との距離			
右後輪と右障害物との距離などをチェックしながら通過する			
③バックする		③	
動き出す前に周囲の状況を確認する			
鏡を見て後方の障害物の有無を確認する			
声をかけてからバックする			
壁などを見ながら真っ直ぐ下がる			
第4段階 自分で確認しながら、人が動く校内を走る			
①周囲の状況を確認しながら進む		①	
(進行方向にある障害物、移動開始時の周囲の障害物)			
②周囲の状況の変化や人の動きをある程度予測する		②	
(進行方向に発生する可能性がある人の動き			
・・・曲がり角、トイレ出入口、エレベーター、教室)			
第5段階 教員の後ろについて校外を走る			
①確認すべきポイントについて知る		①	
(目的地までのランドマーク、ランドマークの設定・確認方法、歩道と車道の境界線、信号の位置、路面の傾き・穴や凸凹、歩道等の段差、縁石、車止め、自転車、バイク、ゴミ置き場)			
②予測すべき状況とその対処法について知る		②	
(歩行者や自転車、自動車などの動きと速さ・・・歩道、交差点、出入口、駐車場)			
第6段階 自分で確認しながら、校外を走る			
①周囲の状況を確認しながら進むことができる		①	
目的地までの経路、交差点の通過など安全面の確認を自分で行う。			
一定時間内に一定距離を移動する。			
②周囲の状況の変化や人の動きや速さをある程度予測出来る		②	
一定時間内に自分の次の行動を判断する(状況確認を素早く行う)			
歩行者やベビーカー、自転車、自動車に対して安全に対応する			

◎確実にできる ○だいたいできる △要練習

・教程の段階について

基本的には各段階を踏んでいくが、大凡できるようになった時点で、次の段階と平行して練習していく。失敗しながら、経験的に得ていく部分も大きい。備考には本人の視覚認知、身体状況などの特性やレバー操作などの指導方針などを記入。随時加筆訂正していく。